みんなの広場

▶「平成21年所沢市消防出初式」が行われ、とび職組合のはしご乗りや、消防活動訓練等が行われました。消防ＰＲコーナーでは、子どもたちが消防服を着て記念撮影をしていました。
１月７日㈬／所沢航空記念公園内
（撮影／市民カメラマン・岩田洋一）

▶「第32回所沢市少年・少女バスケットボール大会」が開催されました。選手たちは元気いっぱいにすばらしいプレーをしていました。
12月13日㈯・14日㈰・20日㈯・21日㈰／市民体育館
（撮影／市民カメラマン・中村　仁）

みんなのギャラリー

▲「成人のつどい」が市内11会場で開催されました。所沢市からは3,717人の新成人が誕生しました。
１月12日㈷／ミューズ・中ホール
（撮影／市民カメラマン・村田ひろこ）

▲12月22日㈪からの５日間、野老澤町造商店（まちそう）で「所沢羽子板市」が開催されました。所沢は押絵羽子板の日本有数の生産地です。
12月24日㈬／野老澤町造商店

みんなで楽しくエコ活動！

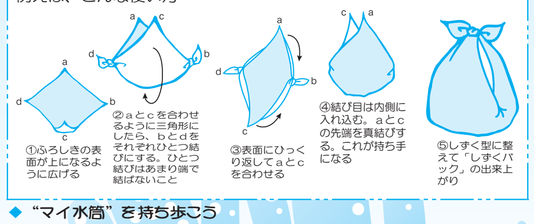
環境レポーター“エコちゃん”が行く

エコちゃんが手軽にできる省エネ・省資源活動をお伝えします

◆日本の伝統文化のひとつ“ふろしき”に注目！
バックのすみに入れておくだけで、もしもの時に役に立つ！
どんな形にも自由自在、持ちにくいものや重いものだって運びやすくしてくれる。

「何よりも！小さくたためて、繰り返し何度も使える優れもの」

例えば、こんな使い方



◆“マイ水筒”を持ち歩こう
冬の寒い季節には、ペットボトル飲料などの代わりに、好きな温かい飲み物を入れたマイ水筒を持ち歩きませんか？
保温性もあり経済的！

「何よりも！ごみの削減になり環境にやさしい」

◆出掛ける時には“環境にやさしい移動”を心掛けよう
車に頼りすぎた生活を見直し、歩いたり自転車に乗ったり、バスや電車などの公共交通機関を利用してみませんか？

「普段、見落としている景色や道端の草花に気づき歩くことで健康にもなります」

問い合わせ　環境総務課（☎2998-9133・FAX2998-9394）

皆さんからの写真や投稿をお待ちしています！

▶「みんなの広場」では、エッセイおよび市内で撮影した写真やイラストなどを募集▶写真には撮影日・場所・コメント（約60字）を明記▶エッセイはテーマにそって300字以内▶次のテーマは『記念日』▶文章は添削あり▶締め切りは２月８日㈰必着▶掲載者には記念品を進呈
◎いずれも住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ〒359-8501並木1-1-1所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係へ郵送またはＥメール（アドレスhiroba@city.tokorozawa.saitama.jp）でご応募ください。

ところっ子

今回ご紹介する方は『山猫軒のChef（シェフ）伊とう』さんです。シェフと言っても料理するのはお肉や野菜ではなく『夢と笑い』です。

伊藤さんは、児童館職員を経た後、人形劇団の公演に参加しながらパントマイムを学び、現在は日本では珍しい手廻（てまわ）しオルガンを演奏するクラウン（道化）として、パントマイムやバルーンを取り入れたショーを保育園や幼稚園、学校、変わったところでは美術館などでも公演しています。

また、公演のほかにも病院や高齢者施設を訪問するケアリングクラウンという活動もしています。ケアリングクラウンとは、ただショーを見せるだけでなく癒（いや）しや笑いを届ける存在です。

「この活動を始めたのは、笑いを治療に取り入れた実在のお医者さんの半生を描いた『パッチ・アダムス』という映画を見たのがきっかけ」と話す伊藤さんは、映画のモデルとなったお医者さんと会い、アメリカのクラウンキャンプに参加しました。そして、日本でもケアリングクラウンの活動がしたいとの思いがさらに強くなりました。

アメリカでは病院でケアリングクラウンを養成するプログラムがありますが、日本では、クラウンそのものの活動になじみが薄く、個人で病院を訪問してもなかなか受け入れてもらえず苦労したそうです。そんなとき難病と闘う子どもたちとその家族を支援している『スターライト・スターブライト子供財団』と出会い、現在は財団の協力を受け年に数回、病院の子どもたちを訪問しています。

伊藤さんの手廻しオルガンの温かい音色を聴いてショーを観ているとなんだか幸せになった気がします。皆さんも、Chef伊とうさんの料理をお試しになってはいかがですか？メニューは伊藤さんのホームページ（http://www6.ocn.ne.jp/~s10organ/index.htm）でご覧になれます。

また３月12日㈭には、ひばり児童館で公演を行います。詳細は広報ところざわ３月号の「児童館へ行こう」をご覧ください。

「夢と笑い」の料理人

伊藤　知子さん（西狭山ヶ丘在住）

▲手廻しオルガンを弾きながらショーを行う伊藤さん

歴史再発見 ところざわの文化財

新春を寿ぐ吉祥絵　～狩野洞雲筆　仙人遊戯図（せんにんゆうぎず）～

人の住む世間を捨て山の中に住み、修行により不老長寿と神通力を得たものを仙人といいます。中国では古くから道教における理想の人物として民間習俗に強く影響を及ぼしていました。道教と仏教が交わり、道釈画が生まれると仙人を画題とした絵が描かれるようになりますが、日本でも室町時代のころから不老長寿を願って好んで描かれるようになりました。

「狩野洞雲筆　仙人遊戯図」もこれら仙人を画題として描かれています。絵師の狩野洞雲は、近世画壇に君臨した一大流派、狩野派の系統で江戸時代前期に活躍した画人です。

本図は対幅（２枚の画面）からなっており、１幅の画面は縦６尺２寸（約188㎝）・幅４尺７寸（約142㎝）とたいへん大きなものです。絹本（絹を使った織物）に８人の仙人が童子３人を交えて山中に会している様子が、一方は松を背景に、もう一方は梅と竹を背景に色彩鮮やかに描かれています。不老長寿の仙人に松竹梅を配したもので、吉祥的な絵画構成で描かれています。

この絵はかつて元町にあった料亭婦多佳美の大広間の床の間に、１月は松を背景にした幅が、２月には梅と竹を背景にした幅が掛けられていました。まさに新春を寿ぐにふさわしい絵として、床の間を飾ってきたものでしょう。

近世初頭における江戸狩野派の特色を全体によく伝え、洞雲の円熟した技量を遺憾なく発揮した代表作として所沢市の指定文化財となっています。

▲仙人遊戯図（左：松の背景、右：梅と竹の背景）

問い合わせ　文化財保護課（☎2998-9253・FAX2998-9128）

誰でもエッセイ

◆テーマ「仲良し兄弟（姉妹）」

「またあえたね！」

北秋津・比留間　澄枝

昭和20年12月、母が病気で亡くなってからお手伝いさんが来てくれました。その後姉が大人になってからは、姉が母親代わりをしてくれました。おかげで妹２人と私はなんの苦労もなく育ちましたが、父と２人の兄はとても大変だったと思います。そんな境遇でしたのでわたしたち兄弟姉妹は、今でもすごく仲良しです。２歳年上の兄が大きな車でわたしたち姉妹を旅行に連れて行ってくれたり、用事のある時は、県北に住んでいるのに川越まで妹２人と私を車で迎えに来たりしてくれます。「またあえたね！」これがあいさつです。やさしかった父のこと、厳しかった祖父のこと、話はつきません。

「またあえたね！」と10年先、20年先も言えることを祈っています。

仲良しの条件

こぶし町・髙井　壽子

二男三女の子宝から、孫、ひ孫ファミリー28名の我が家。私88歳の米寿もすぎたころから、仲良しの家族会の名目で毎月集合して楽しんでおり、新年会の時には「絆」の深さと「和（輪）」の大きさを語りあっています。

そんな我が家では、結婚以来仲良しの条件として、３つの決め事があります。

一、実家には夫婦で来て欲しい
一、酒ものんで良し、のまれない事
一、笑顔を忘れない事

姉としての振る舞い

小手指町・長沼　典子

子どものころは妹におはじきやゲームで負かされ、２歳も年が違うのにと地団駄（じだん）を踏んでは悔しがった。それでもいつも一緒だった。

弟が、毎年全国大会で優勝する男子高の合唱部に所属していた時、川越公会堂でコンサートが開催され妹と行くことに。妹は私の服装をチェックし、川越に着くと歩き方や仕草にも厳しい注文を付ける。気取り屋の妹と来た事を後悔しながら会場へ行く。

コンサートは、すばらしい歌唱力で会場は大盛況。

部長として壇上であいさつする弟はさわやかで輝いていて、終演後は女子高生に囲まれていた。

私は、姉として見苦しくない振る舞いをと妹は心を砕いていたのだと気づいた。

40年以上がたち三人姉弟がそろうとその時の話題で今では大爆笑となる。

●１月号すごろく＆クイズは楽しんでいただけたでしょうか？クイズの答えは「ことしのえとは『うし』です」でした。正解者の中から厳正に抽選し、50人の方に記念品をお送りしました。なお、発表は記念品の発送をもって代えさせていただきます。たくさんのご応募ありがとうございました。